

いせ



第73号

令和5年12月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

題字 明野小学校4年 長澤 蒼依 さん



主な記事

- 9月定例会の概要 2ページ
- 決算分科会審査の概要 4～5ページ
- 市政を問う（一般質問） 8～12ページ
- 産業建設委員会が懇談会を実施 16ページ

「伊勢市高校生議会を開催」

令和5年8月10日に、3回目となる伊勢市高校生議会を開催しました。

参加校の主な質問内容は、14～15ページに掲載しています。

令和5年 9月定例会

令和4年度 決算審査

一般会計・特別会計・企業会計を 全会一致で認定

9月定例会の概要

9月定例会日程

決算特別委員会を設置

令和5年9月市議会定例会を、9月11日から10月10日までの30日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和4年度決算認定をはじめとする34議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を可決・認定、他の議案をいずれも原案どおり可決・同意しました。

なお、本会議において、「おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する意見書採択を求める請願」、「おたふくかぜワクチンの公費助成に関する請願」および「带状疱疹ワクチンの定期接種化に関する意見書採択を求める請願」について反対討論と賛成討論がありました。

令和4年度各会計決算の概要は3〜5ページ、主な議案の内容、議決結果は6〜7ページ、一般質問と答弁の概要は8〜12ページをご覧ください。



決算の概要説明をする
会計管理者（9月11日）



決算の監査結果を報告する
代表監査委員（9月11日）

- 9月11日。本会議
(議案の提案説明等)
。全員協議会
。教育民生委員会
。議会運営委員会
。本会議(委員会審査付託・一般質問等)
。決算特別委員会(全体会)
- 20日。本会議(一般質問)
- 22日。決算特別委員会(分科会審査)
。産業建設分科会
。産業建設分科会
。教育民生分科会
。教育民生分科会
。総務政策分科会
- 25日。産業建設分科会
- 26日。教育民生分科会
- 27日。教育民生分科会
- 28日。総務政策分科会
- 10月2日。産業建設委員会
- 3日。教育民生委員会
- 4日。総務政策委員会
- 5日。決算特別委員会(全体会)
- 10日。議会運営委員会
。本会議(議案採決等)



決算特別委員会の福井委員長(左)と鈴木副委員長(右)
(9月19日)

9月19日の本会議において、「令和4年度決算認定」外3件を詳細に審査するために決算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和4年度決算について、それぞれの分科会を開催し、審査しました。

分科会審査の詳細は4〜5ページをご覧ください。

◆令和4年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

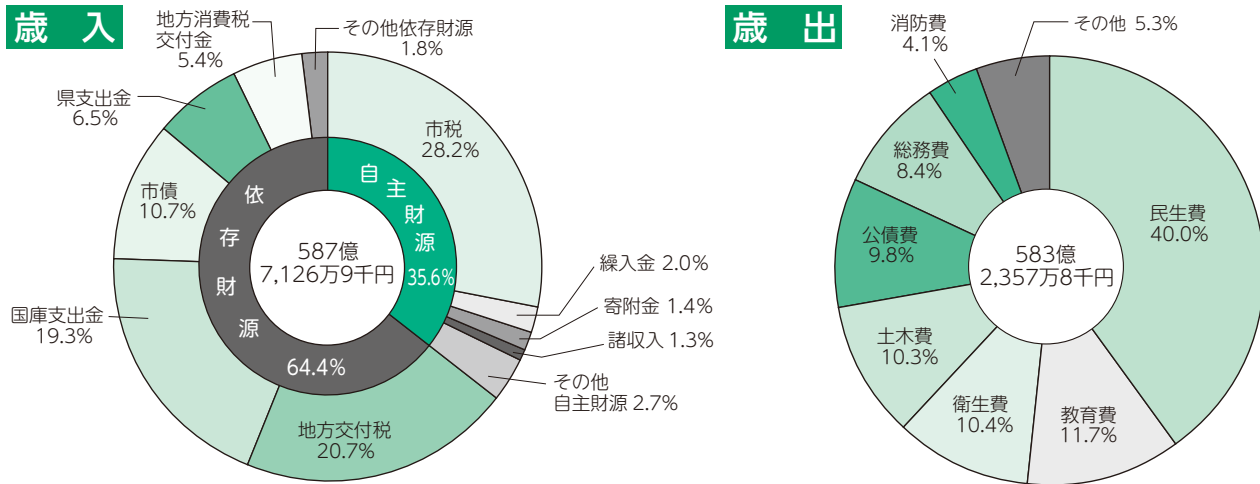
会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計	587億7126万9千円	583億2357万8千円	4億4769万1千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
国民健康保険	125億727万4千円	123億8411万9千円	1億2315万4千円 (基金積立額を含む)
後期高齢者医療	34億4374万3千円	33億8336万8千円	6037万5千円
介護保険	149億9339万9千円	143億7228万6千円	6億2111万3千円
住宅新築資金等貸付事業	3254万6千円	3254万6千円	0円
観光交通対策	5億3287万7千円	4億4428万5千円	8859万2千円
土地取得	1億4013万2千円	1億4006万7千円	6万5千円

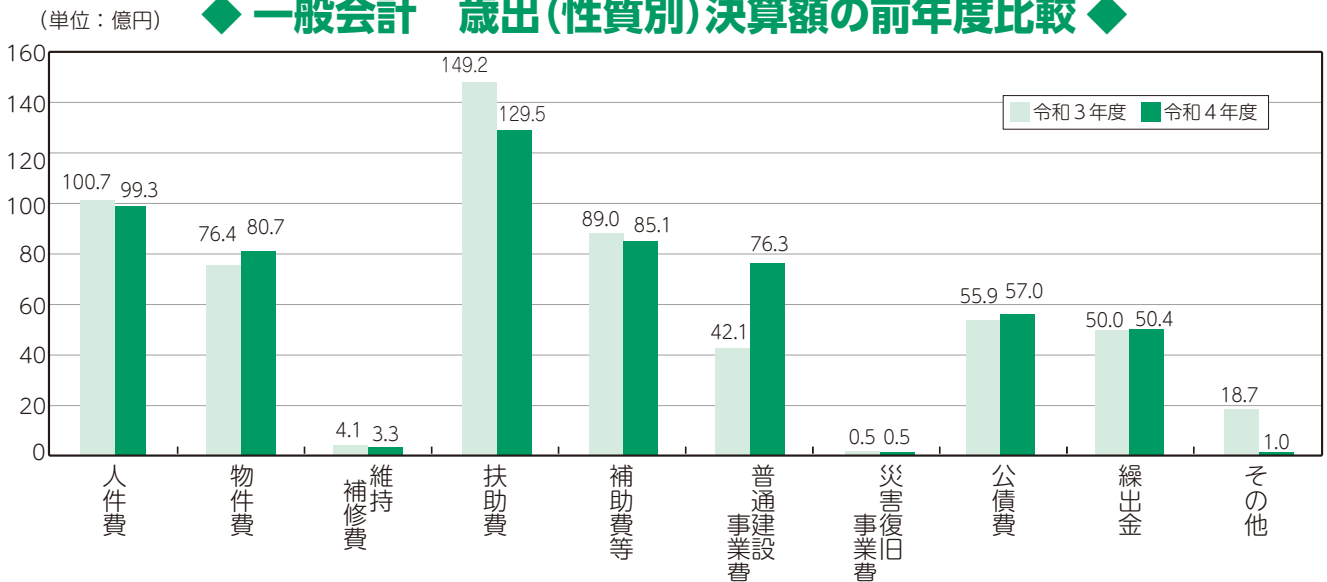
企業会計	収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
病院事業	89億3723万9千円	86億7944万1千円	2億5779万8千円
水道事業	25億3858万8千円	22億2791万3千円	3億1067万5千円
下水道事業	38億7134万円	35億1455万1千円	3億5678万9千円

※千円未満を四捨五入しているため、歳入決算額から歳出決算額を引いた金額と歳入歳出差引差額が一致しない場合があります。
 ※収益的収入には、一般会計からの繰入金があります。

◆令和4年度一般会計決算の内訳（目的別）◆



◆一般会計 歳出(性質別)決算額の前年度比較◆



決算審査

産業建設分科会（9月22日、25日）

○一般会計

（歳入）

住宅使用料の収入未済の対応

（歳出）

労働費 雇用支援、シルバー人材センター運営補助、インボイス制度への対応など

農林水産業費 農作物ブランド化、新規就農者支援、有機・減農薬栽培、農村振興基本計画、排水機場維持管理、種苗放流など

商工費 EC販路開拓支援、地域おこし協力隊、企業立地、廃止となる産業支援センターなど

観光費 観光地等混雑緩和、修学旅行生誘致、ホームページを活用した情報発信、クリエイターズ・ワーケーションなど

土木費 地籍調査、道路整備、通学路整備、河川改修、宇治山田港湾、中心市街地活性化、立地適正化計画、無電柱化、公園整備、空家対策など

○特別会計

・住宅新築資金等貸付事業特別会計 債権回収の取組

・観光交通対策特別会計 渋滞対策

○企業会計

・水道事業会計 有収率の改善に向けた取組、水道事業ビジョンの見直しなど

・下水道事業会計 当初予算の約半額が繰越工事となっていることへの指摘、水洗化率向上のための取組など



産業建設分科会（9月22日）



（9月25日）



産業建設分科会の審査結果を報告する野崎会長
（10月5日）

決算審査

教育民生分科会（9月26日、27日）

○一般会計

（歳入）

体育施設使用料の収入未済の再発防止

（歳出）

民生費 成年後見制度、障がい者相談支援、保育士の処遇改善、親子3人乗り自転車、子どもの発達支援など

衛生費 地球温暖化対策、ペットの飼養、分煙環境の整備、ごみの減量など

教育費 小学生の英語体験、通学安全対策、不登校対策、学校でのICT機器活用、給食調理員の充実など

○特別会計

・国民健康保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険特別会計 介護認定非該当者への丁寧な支援

○企業会計

・病院事業会計 医師確保、健診収益の増加、職員の処遇改善など



教育民生分科会（9月26日）



（9月27日）



教育民生分科会の審査結果を報告する藤原会長
（10月5日）

決算審査

総務政策分科会（9月28日）

○一般会計

（歳入）

収納事務の効率化、収納率向上への取組

（歳出）

総務費 保育士確保への取組、職員研修の充実、市基幹情報システムの標準化、ふるさと応援寄附の推進、出会い・結婚支援事業の適正な推進、男女共同参画推進事業者を増やす取組、公共施設マネジメントの推進、伊勢まつりの安全対策、自治会加入率の改善、自治会の担い手不足の解消、自治会への若い世代の参加促進など



総務政策分科会（9月28日）



総務政策分科会の審査結果を報告する岡田会長（10月5日）

決算特別委員会（10月5日）・本会議（10月10日）

10月5日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長がそれぞれ分科会審査の結果を報告し、採決の結果すべて可決・認定されました。これを受け、10月10日の本会議で、福井輝夫決算特別委員会委員長が決算全体の審査結果を報告しました。



決算特別委員会（10月5日）



本会議（10月10日）



決算特別委員会の審査結果を報告する福井委員長（10月10日）

伊勢市議会動画配信

伊勢市議会では、^{ユーチューブ}YouTubeを利用し、ホームページで会議の動画を配信しています。

また、いせ市議会だよりの紙面上では、動画へとリンクする二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレットで読み取ると、動画が視聴できます。



審議した主な議案の内容

令和5年度補正予算

▽令和5年度伊勢市一般

会計補正予算(第6号)

7166万2千円

民生費

・保育士確保事業

500万円

新規採用する保育士等に就労奨励金および継続奨励金を支給する民間保育所等へ補助金を交付し、保育士等の確保を図るもの。

・いじめ防止対策推進事業

1858万3千円

こども家庭庁の「地域におけるいじめ防止対策の体制構築の推進事業」の取り組み団体として採択を受け、市長部局におけるいじめの相談窓口を設置するとともに、教育部局と連携し、いじめ解消の仕組みづくりに向けた体制を構築するもの。

いじめ防止対策推進事業

(1)こどもいじめ相談窓口を福祉総合支援センター内に設置

・来所、訪問、電話等のほか、LINEによる相談体制を構築

(2)いじめ報告相談アプリケーシヨンの導入

(3)いじめ解消に向けた被害者に寄り添った支援の構築

・いじめ報告があった対象児童等への相談支援

・被害者等の背景を踏まえた支援等

(4)支援関係機関等に対する研修の実施

・被害者等の背景を踏まえた支援等



相談窓口となる福祉総合支援センター(MiralSÉ 7階)

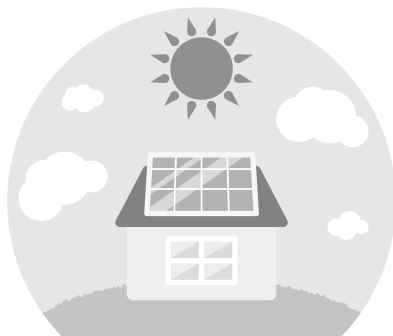
衛生費

・太陽光発電設備等設置費

補助金

445万円

三重県の補助を受け、自家消費型の太陽光発電設備等の設置費用を助成するもの。



教育費

・郷土資料館整備事業

60万円

郷土資料館の整備に向けた、基本構想および基本計画の策定に係る委員会の開催に要する経費を計上したもの。

災害復旧費

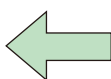
・都市公園災害復旧事業

3900万円

令和5年台風第7号により、宮川親水公園に堆積した流木等の除去を行うもの。



流木等除去前



流木等除去後

その他

▽小型動力ポンプ付積載車の取得

2124万7千6百円

老朽化のため、新たに小型動力ポンプ付積載車2台を購入するもの。

主な装備として、消防団員が消火活動で使用する小型動力ポンプや消防用ホース等を備え付ける。



昨年度購入した車両(参考)

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

〔議案〕

議案番号	案件名	議案番号	案件名
66	令和4年度決算認定	74	伊勢市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正
67	令和4年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和4年度伊勢市病院事業会計決算認定	75	伊勢市火災予防条例の一部改正
68	令和4年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市水道事業会計決算認定	76	市道の路線の廃止
69	令和4年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市下水道事業会計決算認定	77	市道の路線の認定
70	令和5年度伊勢市一般会計補正予算(第6号)	78~96	伊勢市農業委員会委員の任命につき同意を求めること
71	令和5年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第1号)	97~98	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
72	伊勢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正	99	小型動力ポンプ付積載車の取得
73	伊勢市附属機関条例の一部改正		

〔発議〕

5	常任委員会の閉会中の継続審査・調査
---	-------------------

賛否の分かれた案件

〔請願〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
議員名	三野	川口	大西	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	浜口	宿	
議案番号	泰嗣	浩	要一	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	和久	典泰	
議案番号	案件名																						審議結果	
請願第1号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める請願																						賛成多数 採択	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願第2号	おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する意見書採択を求める請願																						賛成多数 採択	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×
請願第3号	おたふくかぜワクチンの公費助成に関する請願																						賛成多数 採択	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×
請願第4号	带状疱疹ワクチンの定期接種化に関する意見書採択を求める請願																						賛成多数 採択	
	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×

〔発議〕

発議第6号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める意見書の提出																						賛成多数 原案可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
発議第7号	おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する意見書の提出																						賛成多数 原案可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×
発議第8号	带状疱疹ワクチンの定期接種化に関する意見書の提出について																						賛成多数 原案可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×

・○は賛成、×は反対。品川議長は通常採決に加わらないため／と表示しています。
 ・採決を棄権した場合は-と表示しています。

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

8人の議員が質問

9月19日	中村 功	8 ページ	9月20日	川口 浩	10 ページ
	北村 勝	9 ページ		楠木 宏彦	11 ページ
	吉井 詩子	9 ページ		辻 孝記	11 ページ
	宿 典泰	10 ページ		野崎 隆太	12 ページ

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること



なかむら
中村

いさお
功

(志誠会)

観光振興について問う

動画は
こちらから



一般質問

答 市内周遊の促進や滞在時間の増加に向けて取り組んでいきたい

- 問** インバウンド誘客の取り組みは。
- 答** 欧米圏に対しては市単独で、アジア圏に対しては伊勢志摩等の広域で取り組んでいる。
- 問** インバウンドの経済効果は。
- 答** 経済効果は大きいと認識している。
- 問** 宿泊を伴う誘客の取り組みは。
- 答** 首都圏・北海道等遠方地域を重点取り組み地域として情報発信している。
- 問** スポーツ合宿や集大会の誘致の取り組みは。
- 答** 経済波及を促すことを目的として、宿泊を伴う場合、補助金を交付している。
- 問** 利用状況は。
- 答** 合宿が59件、集大会が19件。種目別ではサッカーが60%、野球・ソフトボールが22%等となっている。
- 問** 持続可能な観光への取り組みは。
- 答** 観光資源全体の魅力を再認識してもらえような取り組みや、「訪れてみた



にぎわうおはらい町通り

- 「何度でも行きたい」と思っていただけのような持続可能な観光地づくりに向け取り組んでいる。
- 問** 宿泊税導入の考えはないか。
- 答** 先進地の事例を研究したい。
- 問** 宿泊税を仮に導入した場合、税収はどれくらいになるか。
- 答** 長崎市の例で試算すると、約1億円となる。
- その他の質問**
・お木曳行事に向けた各奉曳団の現状と課題について

※インバウンド…観光分野において、外国人が日本を訪れる旅行、訪日外国人旅行。
※持続可能な観光…現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光。

一般質問



きたむら 北村 まさる 勝

(勢風会)

保育士確保対策に繋げる新たな仕組みづくりについて聞きたい

動画はこちらから



答 保育士採用時の就労奨励金、継続時の継続奨励金制度を創設し、支援をしていきたい

問 保育士不足の現状について聞きたい。

答 7月に実施した市内34の民間保育施設に対する聞き取り調査で、22施設が「保育士の採用が難しい」と回答した。

問 保育士確保のため、市において潜在保育士の人材バンクといった制度の創設が必要ではないか。

答 先進地の事例を研究していきたい。

問 支援を必要とする子どもが増えており、特別支援保育補助員の採用についても保育士同様、非常に難しい状況である。特例として保育士資格の有無に関係なく補助制度の対象とする必要があるのではないかと聞きたい。

答 特別支援保育や現在の奨励金制度等、様々な課題対応について検討していきたい。

小中学校における特別支援教育について

問 支援を必要とする児童・生徒数が12年間で1.5倍



に増えているが、特別な支援を支える学習支援員の配置人数が逆に減っている。

支援の低下につながりかねない。早急に学習支援員の増員が望まれるが。

答 学校からの要望を受け、9月から5名増員している。これまで市でも支援員の充足に努めてきたが、国・県にも財政的な措置の拡充を要望していきたい。

その他の質問

・特別支援学校に在籍する児童生徒の副次的な籍について

一般質問



よしい うたこ 吉井 詩子

(公明党)

公園を通してのインクルーシブなまちづくりについてどう考えるか

動画はこちらから



答 公園事業と福祉・教育政策等の連携を深め、取り組みたい

問 伊勢市が管理する公園の現状を聞きたい。

答 30年以上経過したものが172公園ある。予防保全対策を実施しているが、財源確保が課題である。

問 整備対象公園周辺の地域で様々な年代の方の声を聴く工夫をしようか。

答 今年度、新たな長寿命化計画を策定しているので考えていきたい。

問 朝熊山麓公園にインクルーシブ遊具を増設すべきではないか。

答 1基設置済であるが、整備後の意見も聞きながら検討したい。

問 市営大仏山公園の整備予定地にバリアフリーのトイレを設置する考えはないか。

答 補助金等の財源確保も含めて検討したい。

地域包括ケアシステムを支える人材の確保と支援について

問 福祉の事業所においてカスタマーハラスメントが職員の離職につながる可能性がある。専門的な職員を行

政の窓口には配置し、情報収集を行う考えはないか。

答 件数や悩みについて、まずは、部内で調査することを検討したい。

問 市民後見人養成講座を受けた人にフォローアップ研修をしてはどうか。

答 養成講座の内容が年々充実しているので修了者に声かけをして進めたい。

問 高齢者の集いの場へ、送迎や外出支援を目的に実施しているつきそい支援事業については、今年度、健康マ

ジャー活動の2団体が増え、6団体が取り組んでいる。今後も予算拡充をすべきであるが考えを聞きたい。

答 実施団体に実情を聞き、実態を把握して支援内容について検討したい。



市営大仏山公園の整備予定地

一般質問



しゆく
宿
のりやす
典泰

(政友会)

発達障害の可能性がある児童の特別支援について聞く

動画はこちら



答 発達障害者支援は早期発見・早期支援が重要であると認識している

- 問** 市内小学校における発達障害の可能性がある児童の現状把握はできているか。
答 各校から支援を要する児童についての報告等があり、現状を把握している。
- 問** 文部科学省において、児童数の10・4%〜12%が支援が必要ではないかと推測されており、現状把握が不十分ではないか。
答 そのパーセンテージと比較すると伊勢市は随分少ない。気づかずに潜在したまま通常学級で過ごす児童がいるということがある。
- 問** 各学校における支援が必要な児童への対応はどうなっているのか。
答 担任が個に応じた支援を行い、教員の複数配置・対象児が必要としている支援を共有し、福祉機関につなぐこと。
- 問** 保護者が担任へ相談しても「もう少し様子を見ましょ」と「この子は問題がありません」等、教員の判断や気づきがないため次になげられていない。相談で



- きる状況にないがどうか。
答 一人でも多くの子どもたちを早い段階で発見、支援できるように心がけている。
- 問** 支援が必要な児童の校内での情報共有は十分できているのか。
答 子ども一人一人の障害に応じた適切な教育のため、個別の教育支援計画に基づく校内委員会を定期的に行い、職員会議で情報共有を行っている。支援の目標や教育上の合理的配慮を含む学びの場を柔軟に変更するよう努力している。

一般質問



かわぐち
川口
ひろし
浩

(日本共産党)

あらためて学校給食の無償化について伊勢市の考えを問う

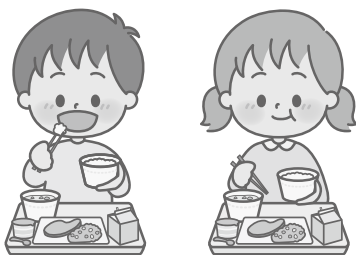
動画はこちら



答 他市町や国、県の動向を注視する

- 問** 教育費の負担軽減を求める保護者の声を背景に、学校給食を無償化した自治体は、昨年12月議会時点の256から491に増えているが。
答 無償化あるいは一部無償化を実施する自治体が増えた状況は把握している。
- 問** 無償化した県内5市の財政力指数、経常収支比率と比べると、伊勢市でも無償化に踏み出せる財政的な余地が十分にあるのではないか。財政力のある自治体だけが無償化に踏み切っているわけではないのか。
答 各指標は財政状況を比べるための一つの要素である。無償化には国の財政支援が不可欠である。
- 問** 学校給食を提供していく上で現在の課題は何か。食育の観点からも小学校の自校調理方式は維持していくべきでは。
答 小学校の給食室に配置する調理師が不足し、継続的に募集を行っている。基本的に自校調理方式を維持していく。

- 自衛官募集事業について
問 市は18歳、22歳になる住民の住所、氏名、性別、生年月日を自衛隊に提供している。個人情報保護の観点から問題はないか。提供を望まない住民について、提供名簿から外す除外申請制度を創設する考えはないか。
答 個人情報の提供は、自衛隊法等に基づく法定受託事務として実施している。除外申請制度の創設は、県内他市の動向も見ながら研究する。



一般質問



くすき ひろひこ 楠木 宏彦

(日本共産党)

文化政策課を教育委員会から市長部局に移管した意図は

答 文化資産の保存・継承と地域自治や観光等を一体的に取り組むことである

動画はこちらから



- 問 市民の文化活動の場として、公共施設は需要を満たしていると考えているか。
答 充足していると考えている。
問 いせ市民活動センターに郷土資料館を新しく整備することで、会議室等は減ってしまわないか。
答 北館1階のホールは多目的ホールとする。会議室の新設も考えている。
問 講演会等を実施できる公共施設のWiFi環境の整備はどうなっているか。
答 15の公共施設で整備済み。引き続き整備を進める。
問 かつて郷土資料館で展示していた資料は現在どう管理されているか。
答 二見町松下の旧国際リゾート短期大学校および旧沼木中学校の建物内で保管している。
問 新郷土資料館の概略は。
答 いせ市民活動センター北館2階を整備し、500㎡以上の展示面積を見込んでいる。

- 問 地域や個人で所有している文化財を把握する手立てはないのか。
答 新郷土資料館を整備する中で、情報把握も進むのではないかと期待している。
問 全市博物館構想はどうなっているか。
答 伊勢まるごと博物館マップを作成し、市内各博物館等に配置している。月ごとにイベント情報をSNS等で発信している。
問 学校現場での文化資産の活用は。
答 歴史教材を活用した学習や、学芸員の出前講座等を行っている。
問 文化財の保存・活用と観光資源としての活用、両者の関係は。
答 文化的価値を損なわずに保存すること、経済活性化に資することは互いに補完する関係にある。



いせ市民活動センター北館

一般質問



つじ たかき 辻 孝記

(公明党)

スポーツの安全対策としてマウスガードの普及推進をしてはどうか

答 伊勢市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等に啓発を行いたい

動画はこちらから



- 問 他市ではスポーツをする子どもにもマウスガードの購入費用の助成制度があるが当市では考えないのか。
答 県外の事例を参考に研究を進めていきたい。
問 2025年から検討されている国民皆歯科健診を市はどう取り組むのか。
答 歯の疾病予防、健康保持は、健康寿命の延伸になる重要な対策と認識している。国の動向を注視し、口腔管理における健康づくりを引き続き進める。
問 市では幅広い年齢で歯周病検診が受けられるが、受診率が低い。率を上げる手立ては。
答 生涯を通じた歯科健診の意識高揚を図り、家庭や学校、職場、医療機関等が連携して社会全体で取り組めるよう、国の動向を注視しながら進めていきたい。

- 問 脱炭素社会に向けた水平リサイクルの推進について
答 ペットボトルの水平リサイクル(B to B)等の推進をしないのか。
答 水平リサイクルは脱炭素社会や循環型社会に貢献する。企業や広域環境組合と連携し、推進に向け、検討している。
問 脱炭素社会実現に向けた中長期的な戦略は。
答 これまでも太陽光発電システムの導入、エコドライブの推進、電気自動車の普及啓発、電気バスの導入支援、環境教育等に取り組んできた。今後も再生可能エネルギーの導入、脱炭素型ライフスタイルへの転換、脱炭素経営の実践を市民や事業者と連携し進める。
問 被災者一人一人に寄り添った「災害ケースマネジメント」をどう考えるか。
答 被災者支援において非常に重要な取り組みであると認識しており、研修会を開催し、意識の高揚に努める。



※水平リサイクル…元の製品と同じものに戻りサイクルすること。使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生することをB to B(ボトルトゥボトル)という。

※災害ケースマネジメント…被災者それぞれの課題に応じた情報提供や、個別の支援を組み合わせ「生活の復興」を支援する取り組み。



のざき 野崎 りゅうた 隆太

(自由民主党)

発展をする、未来を見せることも行政・我々・市長も含めた、政治家の仕事ではないか

動画はこちらから



答 行政事業の価値を高め、まち全体の価値を上げていきたい

問 人口減少対策には社会減改善が重要と考えるが取り組みは。

答 将来人口の見通しや課題を将来の伊勢市の姿として整理し、議会や市民の皆様と共有し、対策を進めてきた。雇用確保、医療体制構築、良質な教育環境確保等、多岐にわたる事業を推進してきた。現在、社会減改善に向け、第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、結婚・出産・子育てを後押しするまち、地元で働けるまち、暮らしの魅力にあふれ続けるまちの3つの視点を基本とし、取り組んでいる。

問 社会減抑制に必要な要素について、どのように考えているのか。

答 人口流出抑制およびUターンや移住等の促進が重要と考えている。それらを実現させるため、例えば、雇用機会の提供、教育・保育環境の整備、医療福祉や買物、レクリエーション等の生活環境の充実、交通・

情報インフラの整備等が必要と考えている。

問 主要都市部との政策、教育、人的等の資源の格差についてどのように考えているか。

答 資源の格差については認識しているが、市には神宮をはじめとした自然や文化、歴史等、他の地域にはない財産があり、それらを活用した取り組みを進めている。

問 行政運営は発展を目指し、それを前提とした政策をつくっていくべきと考えるが認識は。

答 総合計画の基本構想のとおり、人と人のつながりや地域のアイデンティティを大切にしつつ、市民や事業者の皆様とともに魅力的なまちであり続けるよう、取り組みを進めてまいりたい。



「いせ市議会だより」の表紙写真を募集します

年4回(5月・9月・12月・2月)、市内の全世帯に届けられる「いせ市議会だより」の表紙をあなたの写真で飾ってみませんか。



◆募集する写真

市内で撮影された人物・名所・四季折々の風景・学校行事・地域行事・まつり等の写真。

◆応募方法

①住所、②氏名、③電話番号、④写真のタイトル、⑤撮影場所、⑥撮影日時、⑦写真に対する思いなどのコメント(あれば30字程度)を記入のうえ、議会事務局へメールにて送付または記録媒体を持参してください。

※メールデータの場合は約2MBまでしか受信できませんのでご了承ください。

※ファイルサイズが大きく、メールで送付できない場合は、データ便等をご利用ください。

伊勢市議会事務局

住所: 〒516-8601 伊勢市岩淵1丁目7番29号(伊勢市役所本館3階)

電話: 0596-21-5630 メールアドレス: gikai@city.ise.mie.jp



募集要領

◆応募の締め切り

随時受け付けをしますが、審査・校正・印刷に一定の時間が必要なため、発行月の概ね1ヵ月前までに応募いただいた分が、次号以降の審査対象となります。

応募条件、応募上の注意、選考方法等の詳細については、「募集要領」をご覧ください

「議会ツアー」を実施しています!

お申込みは
こちら



議会ツアー

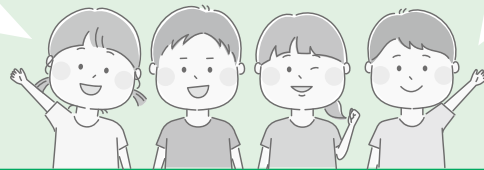
「議会って何してるってこなん?」の声に応えるために、議員と議会事務局職員が議会の役割や仕組み等をわかりやすく説明する「議会ツアー」を実施しています。

議会ツアーで市内小学生からいただいたご意見

- ・伊勢市議会の人がやっていることが分かった。
- ・議会がとても身近に感じられた。
- ・18才になったら投票したいと思った。
- ・私の大好きな伊勢を守っているのがかっこいいと思った。
- ・学校の授業でだいたいどんなのかは分かったけど、行って改めて関心をもった。

- ・議員さんが直接教えてくれるとは思わなかったの、すごいと思った。
- ・インターネットでは知れないことも知れて勉強になった。
- ・クイズがおもしろかった。特に〇×クイズ。

など



議会日誌

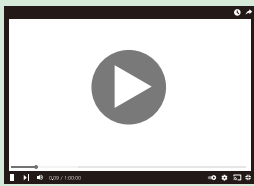
- | | | |
|---|--|---|
| <p>10月</p> <p>2日。政策等検討分科会</p> <p>10日。広報広聴検討分科会</p> | <p>9月</p> <p>4日。議会運営委員会</p> <p>。同協議会</p> <p>11日。10月10日</p> <p>。9月定例会</p> <p>11日。議会のあり方調査特別委員会</p> <p>。広報広聴検討分科会</p> | <p>8月</p> <p>1日。広報広聴検討分科会</p> <p>10日。伊勢市高校生議会</p> <p>28日。産業建設委員協議会</p> <p>。広報広聴検討分科会</p> <p>29日。教育民生委員会</p> <p>。同協議会</p> <p>。政策等検討分科会</p> <p>30日。総務政策委員会</p> <p>。同協議会</p> <p>。議会ICT検討分科会</p> |
|---|--|---|

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の様子を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

12月定例会は、
12月4日～20日の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

9月定例会会議録

9月定例会の詳細は、「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ12月中旬に設置の予定です。
また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

伊勢市高校生議会 参加校の主な質問内容

伊勢市高校生議会では、高校生が議員役となって、市政に対する疑問点やこれからの伊勢市に望むことを高校生の視点で質問し、議員が市職員役となって、答弁を行いました。また、参加高校生のうち、希望があった4名が交代で議長役を務めました。



百々彩乃議長 山口颯斗議長 山本泰雅議長 山崎成悟議長



当日の会議録（質問・答弁の全文）、動画等については、議会ホームページに掲載しています。

開催日時 令和5年8月10日（木）
13:30～16:00

開催場所 伊勢市役所 本館3階
市議会議場

参加人数 8校23名

伊勢高等学校 教員の過重労働問題について

- 中学校の教員を例に出すと、令和元年度のOECD調査において、労働基準法で定められている勤務時間の規定を大幅に上回っています。現在の教員の勤務時間を減らすような取り組みはどのようなものがありますか。
- ICTを活用した教員の作業量削減事例と教育の面でどういう制度ができたらいと考えますか。



宇治山田商業高等学校 災害が起きた時の対策について

- 数年、数十年先に南海トラフ地震が起こると予想されていますが、私達の世代は地震、津波を経験したことがなく、避難することや避難生活に心配をしています。避難所に備蓄食料があると思いますが、伊勢市全体の人口に対する食料の割合はどれくらいで、何日分あるのですか。
- 伊勢市の津波浸水予測図には、津波到達時間が40分未満の地域がありました。津波から逃げるのが困難な地域があると思うのですが、その人たちはどうなりますか。



皇學館高等学校 観光地活性化とグローバル化について

- 2019年以前と2020年以降（コロナ流行前と流行後）で、伊勢市を訪れる外国人観光客数と消費金額動向はどれくらい異なっていますか。
- 富裕層の外国人旅行者を地方に呼び込むために、伊勢市としてはどのような国や地域からインバウンドを期待しており、その消費動向を分析されていますか。
- 外国人向けのニューツーリズムの方向性など、今後のビジョンを教えてください。



英心高等学校 伊勢まつりと地域自治について

- 新型コロナウイルスの制限がなくなったことで、今後インバウンドが増加していくことが見込まれます。外国人に、伊勢まつりを見てもらい、歴史・文化に触れることで外国人旅行者の満足度も高まり、地域においては、伝統の継承にもつなげるため、市から各自治会に働きかけをしてもらおうとよりよい伊勢市になると思います。伝統継承のことを踏まえ、伊勢まつりを神嘗祭の日程と合わせることはできないでしょうか。



伊勢学園高等学校 伊勢市の子育て支援について

- 伊勢市の子育てハンドブックには、健診や予防接種、経済的なサポートなどの情報が分かりやすく記載されており、新しくオープンしたミライセの情報も掲載されています。しかし、実際はなかなか相談することができなかつたり、こんなことで相談していいのかなど、ためらう方がたくさんいるのではないかと思います。伊勢市では、そのような人に対してどのような行動を起こしているのか、また、今後どのようにして手立てをしていこうと考えていますか。



伊勢まなび高等学校 特定外来生物の対応策について

- 令和5年6月からアカミミガメが条件付特定外来生物に指定されました。ミドリガメの通称でペットとして輸入され、販売されていたため、簡単に入手できましたが、今後起こりうる被害にも目を向け、対策に取り組む必要があると考えます。他市では、条例を制定し、罾の貸し出しや防除マニュアルの作成などにより、アカミミガメの大幅な減少が確認され、希少な生物の復元につながった事例があります。伊勢市の自然を守るための手段の一つとして、同様の活動に取り組むことが必要ではないでしょうか。



宇治山田高等学校 少子化対策と地域活性化について

- 少子化は社会問題として扱われていますが、そもそも、少子化が進行すればどのようなことが問題なのでしょうか。問題視される原因を教えてください。
- 子育てに関して、必要とされる方に支援が届いていないことがあると思うのですが、そのような方をどのように把握していますか。
- 高校生の私たちも一緒になって少子化対策に向けてできることはありますか。



伊勢工業高等学校 伊勢市の観光資源の再発見と人材育成について

- 伊勢市は、伊勢神宮で有名ですが、ほかにも多くの魅力ある場所がたくさんあり、そのうちの一つに二見町があります。二見のまち全体をリノベーションすることで魅力を伝えることはできないでしょうか。
- 二見町では、令和5年4月から小中学校が光の街に移転しました。学校の跡地利用として、高校生が教え手となり、野球教室やサッカー教室などを行うのはどうでしょうか。ぜひ、次の人材育成の道筋をつけてほしいです。



表紙の題字は

明野小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は長澤さんの「いせ」を採用しました。次回は御園小学校の皆さんの中から採用予定です。



題字を書いたときの感想

先生から明野小学校から1人選ばれるよと言われ、選ばれてほしいなと思って書きました。

明野小学校 4年 ながさわ 長澤 あおい 蒼依

コロナ禍を経て地域経済や観光業について議論

産業建設委員会が所管する事業の調査とともに今後の審査の参考とするため、令和5年7月7日に伊勢商工会議所、7月10日に伊勢市観光協会と懇談会を実施しました。

(懇談会概要)

産業建設委員会では継続調査案件として「商業活性化に関する事項」および「観光振興に関する事項」を議決しています。

懇談会では伊勢商工会議所および伊勢市観光協会と、市委託事業に関する調査や所管分野に関する意見交換を行い、今後の審査の参考としました。



伊勢商工会議所との懇談会



伊勢市観光協会との懇談会

問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）
〒516-8601
伊勢市岩渕1丁目7番29号
☎ 0596-21-5630
FAX 0596-21-5631
✉ gikai@city.ise.mie.jp

編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会

会 長 上村 和生 委 員 久保 真
副 会 長 藤原 清史 井村 貴志
野崎 隆太
野口 佳子